

ノダフジ

●所在地／稲荷本村 伊豫稲荷神社 ●所有者／伊豫稲荷神社

マメ科。9株（または10株とも見える）のうち、最大のものは株元の周囲190cm、根元から3本に分岐^{ぶんき}している。

このような古木では木部が腐食していることが多いが、この最大株でも幹の周縁部が健全で生育は旺盛である。

全株が50㎡の棚に広がりよく手入れされているので、毎年4月下旬～5月上旬には多数の美しい薄紫色の花房が見られる。

「藤市引請証文之事」天明6年（1786）～明治2年（1869）の記述によると、開花期には境内に市が立ち、芝居や大相撲が行われて7日間大賑わい^{おおにぎ}であったという。

樹齢は、この記述がこの株のものであるとすれば200年以上と推定される。

